公害地域の今を伝える
スタディツアー２０１０
～新潟・水俣病の地を訪ねて～

■現在、マスメディアを騒がしている「水俣病」問題について、過去の歴史、現在の成果、残された課題を現地で読み解いて見ませんか？
■見学やヒアリングから得た知識をワークショップを通して参加型で学びます。
■スタディツアーの前には、事前勉強会を用意しています。
■参加者は現地で学んだことを、次は発信者として、伝えていくことをめざします。

日　　程：スタディツアー
8月５日（木）～８日（日）３泊４日 ▶

事 前 勉 強 会　※両会場とも13:00～16:00
7月11日（日）　会場：都留文科大学（山梨）
7月18日（日）　会場：あおぞら財団（大阪）
講 師：関 礼子氏（立教大学社会学部 現代文化学科教授）
※いずれかの会場で事前勉強会にご参加ください。

対　　象： 公害・環境問題に関心をもち、持続可能な地域づくりに取組む意欲のある人
※参加記録の執筆をしてもらいます。それらの情報を元に新しい公害教育の教材および冊子を作成します。

定　　員：40名

参 加 費 ：１０，０００円　※食事相当分の負担をお願いします。

連絡事項：スタディツアーの前に、基礎知識を学習するための事前勉強会を実施します。この勉強会に参加した上で、スタディツアーの前と後、それぞれでレポートを提出してください。

申込方法：氏名、連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）、所属、参加動機を記入の上、FAX・Mail・郵便のいずれかで、下記（あおぞら財団）宛に申込ください。

受付開始：5月24日（月）　※定員になりしだい締めきります

1日目
AM　集合
a.関西（大阪→京都（竹田）からバス）
b.関東（山梨→大月→新潟駅からバス）
c.現地（環境と人間のふれあい館）
PM　概要説明・資料館見学
夜　グループ分け・懇親会

2日目+3日目
日中　グループごとにヒアリング
フィールド見学など
夜　まとめ作業

4日目
AM　発表交流会
PM　ふりかえり・解散（バスで帰路）

主な訪問・ヒアリング先（予定）
●訪問先
環境と人間のふれあい館ー新潟水俣病資料館ー、昭和電工跡地、漁村など
●ヒアリング先
患者、活動支援者、医師・弁護士、行政など

連絡・問い合わせ先
〒555-0013　大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4F
あおぞら財団（財団法人公害地域再生センター）
TEL：06-6475-8885
FAX：06-6478-5885
Web：http://www.aozora.or.jp/
Mail：webmaster@aozora.or.jp

※本事業は（独法）環境再生保全機構地球環境基金助成事業の一環です。
なお、いただいた個人情報は本事業の目的以外には使用しません。

公害地域の今を伝えるスタディツアー2010　■申込用紙

（ふりがな） 氏　名	
住　所	〒
電話番号	※夏季休暇中に連絡のとれる番号を教えてください
メールアドレス	
所　属	
参加動機、 問題意識など	
その他（要望・質問等）	

協力専門家・スタッフ
※五十音順

板倉 豊（京都精華大学教授）／井上有一（京都精華大学教授）／大滝あや（Tao舎代表）／
小田康徳（大阪電気通信大学教授、西淀川・公害と環境資料館館長）／
高田 研（都留文科大学教授、あおぞら財団理事）／西村仁志（同志社大学准教授）
林 美帆（あおぞら財団事務局）／藤江 徹（同左）／鎗山善理子（同左）